

事業報告書（概要）

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

西鉄学園は日本の経済成長が始まった昭和37年に、来るべき自動車社会を支えていく人材を育成することを目的に学校法人西鉄自動車学校を設立し、運転の教習を行う教習部門と自動車の構造・整備を教育する整備部門の2部門を備えた学校として誕生しました。その後経済の成熟化に伴う人々の生活水準の向上による、旅行や観光に関わるサービスの高度化が求められる時代の到来に対応し、当学園は平成4年に法人名を学校法人西鉄学園に改め、時代の要請に応える新たな学校として平成6年に国際ビジネスカレッジを開校し3校を擁する現在の姿になりました。

自動車学校は運転免許取得のための教習のほか地域の交通安全に寄与する活動を行い、2校の専門学校は、2級自動車整備士養成ならびに観光業界等に寄与する専門士（商業実務専門課程）養成を行っております。

(2) 学校法人の沿革

昭和37年 2月	学校法人西鉄自動車学校設置認可
昭和37年 4月	西鉄自動車学校および自動車整備科（3級整備士養成指定校）開校
昭和37年 11月	指定自動車教習所として指定（大型自動車）を受ける 以降 指定教習車種を追加
昭和39年 3月	第一種自動車整備士養成施設指定校として認可を受ける
昭和52年 5月	自動車整備士養成施設（第一種）の変更 3級自動車整備士養成課程を2級自動車整備士養成課程へ
昭和52年 12月	私立専修学校西鉄自動車整備専門学校設置認可
昭和53年 4月	西鉄自動車整備専門学校 開校
平成 4年 11月	学校法人の名称を西鉄学園に変更
平成 6年 3月	私立専修学校専門学校国際ビジネスカレッジ設置認可
平成 6年 4月	専門学校国際ビジネスカレッジ開校
平成12年 4月	専門学校国際ビジネスカレッジを専門学校西鉄国際ビジネスカレッジに 名称変更

(3) 設置する学校・学科（令和7年5月1日現在）

学校名	開校年月	学科名	
西鉄自動車学校	昭和37年4月	—	
西鉄自動車整備専門学校	昭和37年4月	工業専門課程 職業実践専門課程	自動車整備科 留学生自動車整備士コース
専門学校西鉄国際 ビジネスカレッジ	平成 6年4月	商業実務専門課程 職業実践専門課程 (ホテル3年グローバルコース、国際ビジネス科、国際ホテルマネジメント科、ITビジネス科、夜間総合観光科除く)	ホテル・ブライダル科 // ホテル3年グローバルコース 鉄道科 エアライン科 国際ビジネス科 国際ホテルマネジメント科 ITビジネス科 夜間総合観光科

(4) 学校・学科の学生数（令和7年5月1日現在）

(単位：人)

学校名	学科名	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
西鉄自動車学校	—	—	—	—	521
西鉄自動車整備専門学校	自動車整備科	35	27	70	59
	留学生自動車整備士コース	35	33	105	91
専門学校 西鉄国際ビジネスカレッジ	ホテル・ブライダル科	40	27	80	56
	ホテル・ブライダル科 ホテル3年グローバルコース	10	1	30	4
	鉄道科	35	20	70	44
	エアライン科	55	33	110	72
	国際ビジネス科	30	6	60	16
	国際ホテルマネジメント科	30	44	90	84
	ITビジネス科	30	5	60	7
	夜間総合観光科	10	3	20	10
合 計		310	199	695	964

(注)1 現員数は1～3学年の合計

(注)2 海外実習生は含まない

(5) 役員概要（令和8年5月1日現在）

区分	氏名	就任年月（主な現職）
理事長	戸田 康一郎	令和7年3月理事長就任 (西日本鉄道株式会社顧問)
常務理事	相田 安浩	令和3年4月常務理事就任 (法人本部本部長、西鉄自動車学校校長)
理事	小宮 章敬	令和3年4月理事就任 (西鉄自動車学校管理者兼副校長兼 運転教育部部長)
理事	野口 英明	令和4年4月理事就任 (西鉄自動車学校営業部部長)
理事	田中 大一郎	令和8年4月理事就任 (専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ校長) (西鉄自動車整備専門学校校長)
理事 (非常勤)	吉岡 雄一	令和8年4月理事就任 (西日本鉄道株式会社経営企画部課長)
監事 (非常勤)	山口 剛	令和8年4月監事就任 (西日本鉄道株式会社監査等委員会室室長)
監事 (非常勤)	奥村 洋介	令和4年4月監事就任 (西日本鉄道株式会社監査等委員会室課長)

(注)役員の数定員数は理事6名以上8名以内、監事2名

(6) 評議員概要（令和8年5月1日現在）

氏名	就任年月	主な現職
古賀 貢照	令和7年5月	法人本部総務部部長
田中 友加利	令和7年5月	専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ教務部部長
松藤 大助	令和7年5月	日本郵政株式会社竹下郵便局局長
有働 祐一	令和7年5月	西日本鉄道株式会社経営企画部部長
細川 道夫	令和7年5月	学校法人西鉄学園顧問
沖本 浩司	令和8年4月	西日本鉄道株式会社グループ営業企画部部長
山口 哲生	令和8年4月	西日本鉄道株式会社執行役員自動車事業本部副本部長 兼計画部部長兼技術部部長

(注)定員の定数は7名以上9名以内

(7) 理事選任機関の概要

理事選任機関は、評議員会とする

理事選任機関の構成員は、全ての評議員とする

(8) 教職員の概要（令和7年5月1日現在）

（単位：人）

区分		法人本部	西鉄 自動車学校	西鉄 自動車整備 専門学校	専門学校 西鉄国際 ビジネスカレッジ	計
教 員	本務		33	8	20	61
	兼務		6	4	29	39
職 員	本務	6	8	2	2	18
	兼務	1	3			4
計		7	50	14	51	122

2. 事業の概要

(1) 主な教育・研究の概要

<西鉄自動車整備専門学校>

自動車が好きで学ぶ意欲が高く、将来は自動車業界で活躍し、成長して人の役に立ちたい学生を受け入れ、多種多様な車両の整備や車検に関する実践授業や企業との連携によるインターンシップ、学生個人の理解度やスキルに応じた少人数制の教育を行い、自動車整備士として活躍するために必要な専門知識・技術や社会人として求められる姿勢・能力（主体性・行動力・コミュニケーション力・礼儀正しさ等）を身に付けさせて、社会に輩出しています。

<専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ>

学習意欲が高く、思いやりを持ち、人のために率先して行動し、広く観光業界で活躍したい学生を受け入れ、目指す業界で求められる専門的な知識や技能を高める授業や業界の理解を深める研究、実践的な企業実習、社会人に必要なビジネス科目の教育を行い、業界の発展に寄与する専門知識・技能や深い考察力、高い規範意識や協調性、ホスピタリティマインドを身に付けさせて、社会に輩出しています。

(2) 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

<西鉄自動車学校>

西鉄自動車学校においては、「優良運転者の育成による社会貢献」、さらには「社会に対しての交通安全意識の啓発」に積極的に努めております。優良運転者の育成においては、一般ドライバーだけでなく、バス・タクシーなどの職業運転士の育成・輩出により産業を支えてまいります。そのために、教職員の確保、育成はもとより、複数の教習・検定ができるマルチ指導員を計画的に育成し、人財力の強化・教習の充実に取り組んでおります。

併せて、高齢者への講習や一般企業の安全意識への高まりに対する安全運転研修についても、継続して積極的に取り組むことで、広く交通安全意識の啓発に努めております。

<西鉄自動車整備専門学校>

西鉄自動車整備専門学校においては、教育事業を通して優秀な人材を育成・輩出し、学生・社会に対する役割を果たすため、専門知識や最新技術と高いコミュニケーション能力を有した整備士の育成に取り組み、その結果、就職率100%、二級自動車整備士合格率98.1%（54名中53名合格）を達成しました。特に留学生の功績は顕著で、受け入れ開始より二級自動車整備士合格率100%を継続しています。

また地域社会との連携を推進し、児童や生徒に自動車整備士の仕事に興味関心を高めてもらうための取り組みとして、小学校・中学校・高校にて職業観育成講座や体験実習を実施しました。

<専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ>

専門学校西鉄国際ビジネスカレッジにおいては、教育事業を通して優秀な人材を育成・輩出し、学生・社会に対する役割を果たすため、時代のニーズに応じた学科の再編を行いました。デジタル思考とビジネススキルを兼ね備えた人材を育成するため2024年度に新設したITビジネス科では、1期生2名とも内定を獲得して卒業しました。一方、少子化の進行や進学ニーズの変化を踏まえ、「ホテル3年グローバルコース」ならびに「夜間総合観光科」においては2026年度以降に入学する学生の募集を停止することを決定しました（在校生の卒業をもって廃止予定）。また、西鉄グループ各社と連携した授業・就活対策・イベント等も継続実施しました。

貸借対照表(要約)

令和 8年 3月31日

(単位：千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	1,429,710
有形固定資産	1,407,928
土地	936,954
建物	396,238
その他	74,735
その他の固定資産	21,781
流動資産	1,413,208
現金預金	1,359,726
未収入金	26,488
その他	26,994
資産の部合計	2,842,918

負債の部	
科 目	金 額
固定負債	131,133
退職給与引当金	131,133
流動負債	479,009
未払金	109,791
前受金	271,807
その他	97,411
負債の部合計	610,143
純資産の部	
科 目	金 額
基本金	2,721,571
繰越収支差額	△488,796
純資産の部合計	2,232,774
負債及び純資産の部合計	2,842,918

事業活動収支計算書（要約）

令和 7年 4月 1日 から
令和 8年 3月31日 まで

(単位：千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	金 額
		学生生徒等納付金	975,872
		手数料等	75,305
		付随事業収入	90,036
		雑収入	8,927
		教育活動収入計	1,150,141
	事業活動支出の部	科 目	金 額
		人件費	527,596
		経費	611,851
		徴収不能額等	280
教育活動支出計		1,139,728	
教育活動収支差額		10,413	
教育活動外収支	収入の部	科 目	金 額
		教育活動外収入計	2,442
	支出の部	科 目	金 額
		教育活動外支出計	—
教育活動外収支差額		2,442	
経常収支差額		12,855	
特別収支	収入の部	科 目	金 額
		特別収入計	905
	支出の部	科 目	金 額
		特別支出計	669
特別収支差額		235	
基本金組入前当年度収支差額		13,091	
基本金組入額合計		△9,775	
当年度収支差額		3,316	
前年度繰越収支差額		△520,662	
基本金取崩額		28,550	
翌年度繰越収支差額		△488,796	

資金収支計算書（要約）

令和 7年 4月 1日 から

令和 8年 3月31日 まで

（単位：千円）

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	975,872
手数料収入等	75,305
付随事業・収益事業収入	90,036
受取利息・配当金収入	2,442
雑収入	8,927
前受金等収入	271,807
その他の収入	491,240
資金収入調整勘定	△310,740
前年度繰越支払資金	1,350,376
収入の部合計	2,955,266

支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	498,808
経費支出	561,221
施設関係支出	38,904
設備関係支出	46,994
その他の支出	560,907
資金支出調整勘定	△111,295
翌年度繰越支払資金	1,359,726
支出の部合計	2,955,266

財産目録

令和 8年 3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
資産額	
基本財産	1,407,928
土地	936,954
建物	396,238
その他	74,735
運用財産	1,434,989
現金預金	1,359,726
未収入金	26,488
その他	48,775
資産額合計	2,842,918
負債額	
固定負債	131,133
退職給与引当金	131,133
流動負債	479,009
未払金	109,791
前受金	271,807
その他	97,411
負債額合計	610,143

令和8年5月22日

監査報告書

学校法人西鉄学園

理事会 御中

評議員会 御中

監事 山口 剛



監事 奥村 洋介



私たち監事は、学校法人西鉄学園の令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）の業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行の状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事奥村洋介は、理事会に出席したほか、理事等から業務執行の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、本部および各学校において必要と思われる調査を実施しました。

監事山口剛は、就任前の期間における監査事項につき在任監事等より説明を聴くとともに、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、計算書類等（財産目録、貸借対照表、収支計算書）および事業報告書に関する説明を受け、かつ必要と認められる方法を実施して、その正確性を検討しました。

2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、計算書類等および事業報告書の記載と合致し、適法かつ正確に法人の収支状況および財政状況を示していると認めます。
- (2) 学校法人の業務または財産に関し、不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

以上